

ふんにょうるい ひりょう
19 人の糞尿類も肥料に

昭和17年(1942)

ぐんじゅうこうじょう かくちょう かくだい じんこうぞう ふんにょうるい
 軍需工場の拡張・拡大による人口増で糞尿類の
 しょうり かいだい たいさく ふんにょうるい
 処理が課題となりました。その対策として糞尿類を
 ひりょう さいりょう けいかく きょうどうりょう
 肥料として再利用することが計画され、共同利用人
 糞尿溜が県内各地に設置されました。当館近くの朝
 倉町にも設置されていました。

群馬県行政文書「肥料奨励関係書類」
 (A0184A0S 771 2-1)

共同利用人
 糞尿溜
 共同利用人員ニハロニ名ナルキ以テ肥料不足ノ所
 概益スル所不敷ルモノト思科セラル
 別紙 失多思

供覧
 農務課長
 課係
 共同利用人糞尿溜ニ関スル件
 四市及主要都市ノ急激ナル人口ノ増加ニ伴ヒ
 糞尿類ノ処理ハ肥料衛生方面ヨリ重要事項
 ニ有之候ニ付右対策ノ一端トシテ別記三十八農事
 実行組合(四ヶ所)ニ糞尿溜設置ノセメント配給
 設置ハ処今般当該部市長農会長ヨリ設置状況
 報告有之バ余供覧ニセ
 一ヶ所ノ容量量ハ八ト入ルキ以テ之ヲ年五月以テ及
 復利用セラルヤキキ以テ年一ト入ルキ以テ排世物ヲ貯
 95

